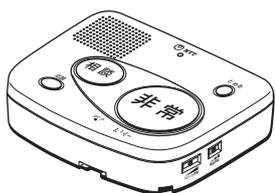


SL-8号BOX

取扱説明書



技術基準適合認証品

このたびは、SL-8号BOXをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL-8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、通報先への通報が確実に完了することを約束するものではありません。回線の不通や機器の故障等の可能性も想定し、本商品を用いた通報伝達経路以外の方法（戸外スピーカを設置する等）を別途ご用意いただくことをお勧めいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 不要となった乾電池は、市町村の条例等に基づいて廃棄してください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、SL-8号専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・直接はんだ付けしない。
 - ・プラス・マイナスを針金などの金属類で短絡しない。
 - ・水や海水につけたり、ぬらさない。
 - ・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池パックは定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。電池パックの交換については、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所に依頼してください。
- 乾電池を使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。乾電池の液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。
 - ・火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・直接はんだ付けしない。
- 乾電池を分解、改造しないでください。乾電池の発熱、破裂の原因となることがあります。
- 乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 本商品で指定されていない電池パックは使用しないでください。電池パックの破損、液もれにより火災・けが・機器の故障の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

 **警告**

- 本商品のそばに水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品その他の容器、または小さな金属等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コード等が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電話機コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



- 電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

- ぬれた手で電源プラグと電話機プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- ぬれた手で本商品进行操作しないでください。感電の原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 乾電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 乾電池を水や海水につけたりぬらさないでください。乾電池を発熱させたり、さびの原因となることがあります。
- 指定されていない乾電池は使用しないでください。種類やメーカーの異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の液もれ、破裂により、火災・けが・機器の故障の原因となることがあります。
- 乾電池を本商品に取り付ける場合は、機器の表示通り正しく入れてください。まちがえると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・機器の故障の原因となることがあります。
- 消耗した乾電池は、すみやかに取り外してください。長期間放置しておくと、乾電池の液もれが発生するおそれがあり、火災・機器の故障の原因となることがあります。

お願い

- 本商品は、常時、AC100 Vの商用電源に電源プラグを差したままご使用いただくことを想定した設計となっております。電源プラグをコンセントから抜くと、電池の寿命が短くなったり、電池切れ通報機能や停電通報機能等が動作することがあります。長期不在等でやむを得ず電源プラグをコンセントから抜く必要がある場合は、電池を取り外してから電源プラグを抜いてください。

お使いになる前に（設置環境）

警告

- 直射日光の当たるところや暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所や湿気の多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品は、当社の提供する一般電話回線用です。ISDN回線、IP網やCATV網に接続して使用することはできません。また、ターミナルアダプタ等のアナログポートや他の通信機器（FAX等）を経由して接続しないでください。緊急通報が正常に行われない場合があります。

- 他の通信機器（FAX等）は、本商品のTEL端子に接続してください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使用のとき

注意

- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源を抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 本商品と電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 乾電池を使用している場合は、停電が発生したときや電源プラグを抜いたときは、必ず新品の乾電池と交換してください。

お願い

- 本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

取り扱いについて

STOP お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



置き場所について

こんな場合は、電話が繋がらなかったり、雑音が入ることがあります。

STOP お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しなかったり、故障することがあります。



- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる可能性があります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見かた	12

お使いになる前に

特長	14
セットを確認してください	16
各部の名前とはたらき	17
壁掛けにして使うには	19
● SL-8号BOXを壁に取り付ける	19
停電になったときのために	20
● 電池をセットする（電池パック）	20
● 電池をセットする（乾電池）	21

基本的な使いかた

緊急通報するには	24
相談電話をかけるには	25
声や呼び出し音を調節するには	26
● 相手の方の声の音量を調節する	26
● 呼び出し音の音量を調節する	26
呼び出し音が鳴ったときは	27
お手持ちの電話機を接続して利用するには	28

便利な機能

便利な機能のご紹介	30
● 緊急通報優先機能（強制切断機能）	30
● センサ通報機能	30
● 電池切れ検出機能・電池切れ通報機能	30
● 定時通報機能	31
● 生活周期異常通報機能	31
● テレコントロール	32
● 着信自動応答機能	33
● 常夜灯	34

オプションを利用する

オプションのご紹介	36
オプションを接続して使うには	38
● 小電力型ワイヤレスリモートスイッチ2	38
● 各種センサ	39

SL-8号ハンド フリーボックス (オプション)を 活用する

SL-8号ハンドフリーボックスでできること	42
セットの確認	43
各部の名前とはたらき	44
声や呼び出し音を調節するには	45
● 相手の方の声と呼び出し音の音量を調節する	45
SL-8号ハンドフリーボックスの使いかた	46
● SL-8号ハンドフリーボックスで緊急通報する	46
● SL-8号ハンドフリーボックスで相談電話をかける	47
● 呼び出し音が鳴ったときに電話に出る	48

こんなときには

停電になったときは	50
● 停電になったとき	50
● 停電中は	50
● 停電が終わったとき	51
故障かな?と思ったら	52
● SL-8号BOXのトラブル	52

設定と接続方 法

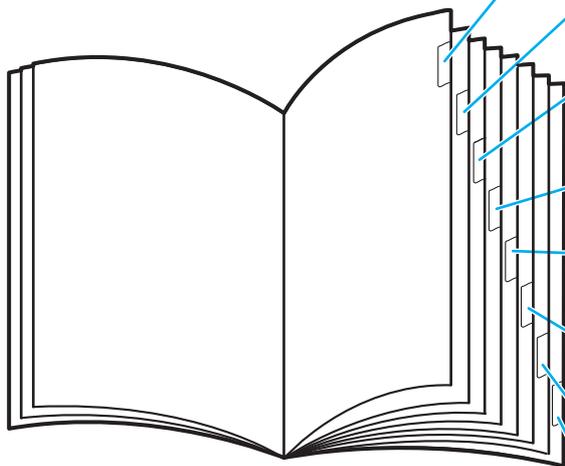
配線・設置・設定の手順	54
● システムデータを設定する	55
システムデータ設定P90一覧	59
配線のしかた	60

付録

索引	62
仕様	64
保守サービスのご案内	65

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

基本的な使いかた

日常、よくご利用になる機能を説明しています。

便利な機能

知っておいていただきたい便利な機能をご紹介します。

オプションを利用する

オプションの機能を説明しています。

SL-8号ハンドフリーボックス (オプション) を活用する

SL-8号ハンドフリーボックスをお使いいただくための機能を説明しています。

こんなときには

故障かな?と思ったときの確認方法などを説明しています。

設定と接続方法

設定と接続方法をまとめて説明しています。

付録

索引などをまとめています。

操作ページの構成

タイトル

操作目的ごとに、タイトルが付けられています。

操作手順説明

操作内容を示すイラストや、操作で使うボタンなどを示しています。

参考

本商品をご利用いただく上での注意点を示しています。

 はボタンなどを示しています。

参照

参照項目やページを記述しています。



困ったときのヒントや、知っておくと便利な情報をまとめています。

お使いになる前に

ここでは、SL-8号BOXをお使いになる前に
知っておいていただきたいことをまとめています。



特長	14
セットを確認してください	16
各部の名前とはたらき	17
壁掛けにして使うには	19
停電になったときのために	20

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL-8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

特長

SL-8号BOXは、簡単な操作で緊急通報や相談電話がかけられる緊急通報装置です。一人暮らしの方やお体の不自由な方に、いざというときの安心をお届けします。

参考

● SL-8号BOXは110番、119番などに通報を行う装置ではありません。

緊急通報 (☞P24)

非常 を押すだけで、緊急連絡先に電話がつながります。



相談電話 (☞P25)

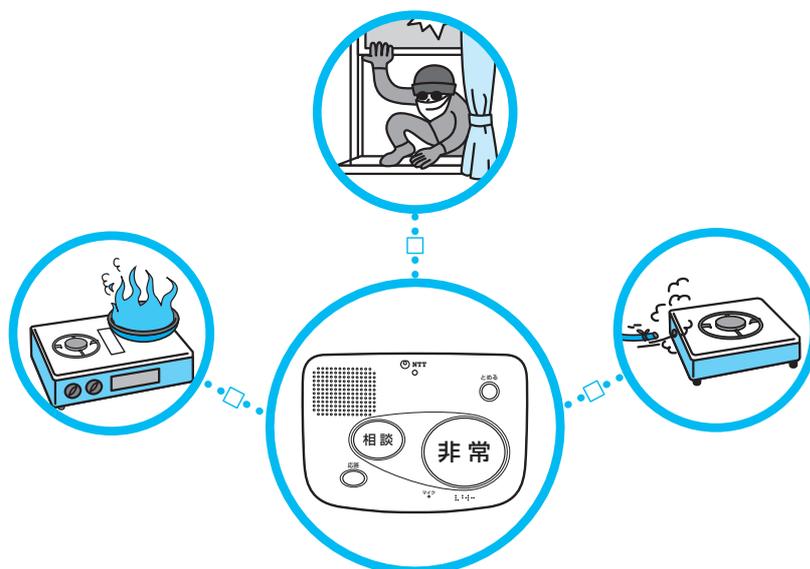
相談 を押すだけで、登録してある相談先に電話がかけられます。



安心機能 (☞P36、39)

市販の防犯・防災センサなどを接続すると、火事やガスもれ、空き巣など、万が一のときに、登録してある連絡先に通報されます。

また、みなさまのトイレの使用の有無等から、連絡先に通報する機能もご利用いただけます。



セットを確認してください

次のものがそろっているか、お確かめください。

本体（一式）

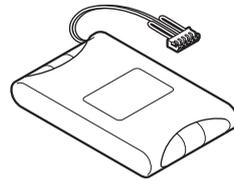


SL-8号BOX本体

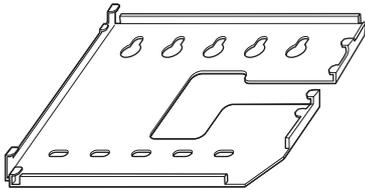
付属品



電話機コード
（1本）



SL-8号用蓄電池パック
（1個）



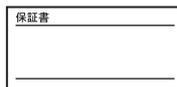
壁掛け金具
（1個）



木ネジ4本 メートルネジ4本
（JISボックス用）
ネジ（8本）



取扱説明書
（1部）



保証書
（1枚）



「NTT通信機器お取扱
相談センター」シール
（1枚）

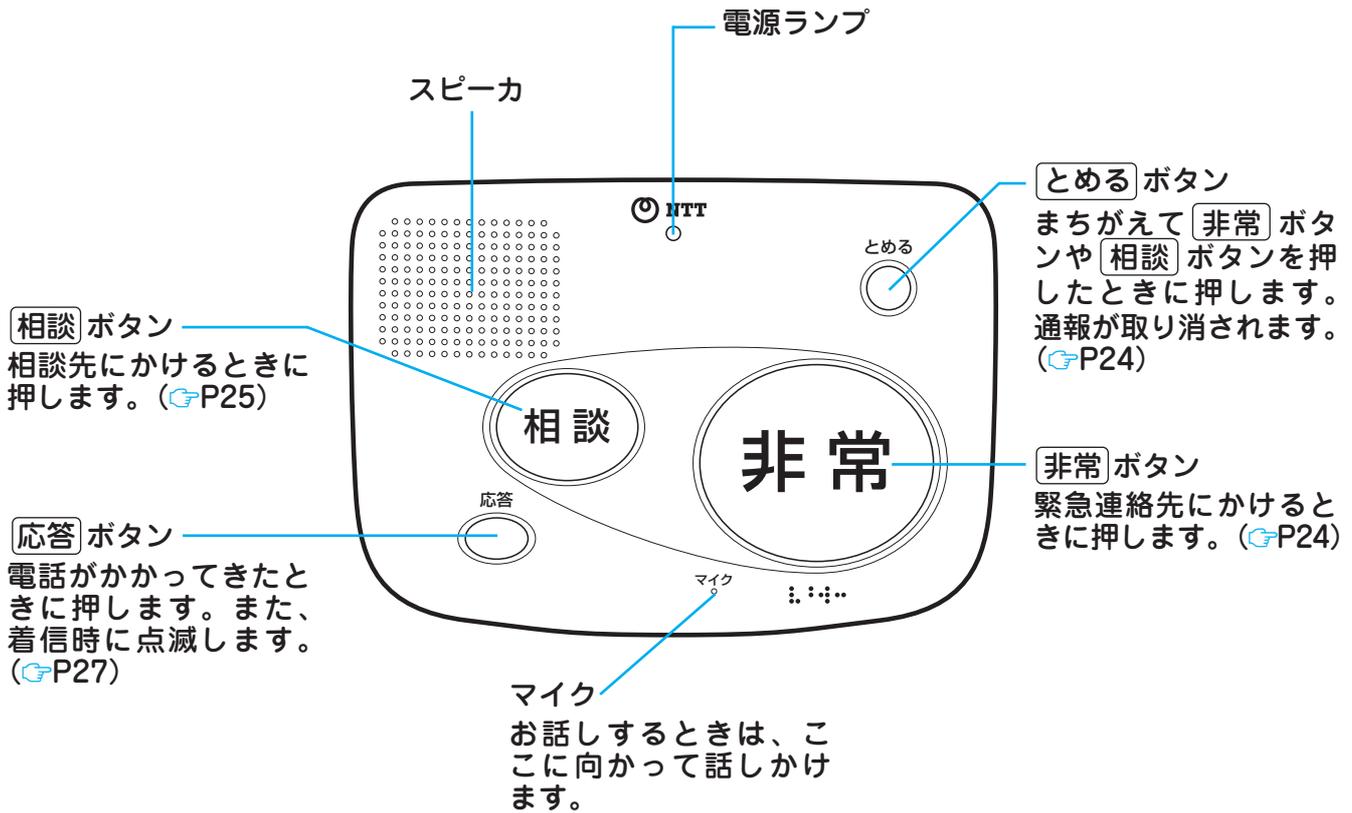
● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などお気づきの点がありましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

お使いになる前に

セットを確認してください

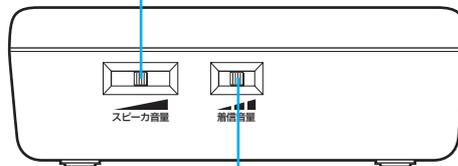
各部の名前とはたらき

前面



右側面

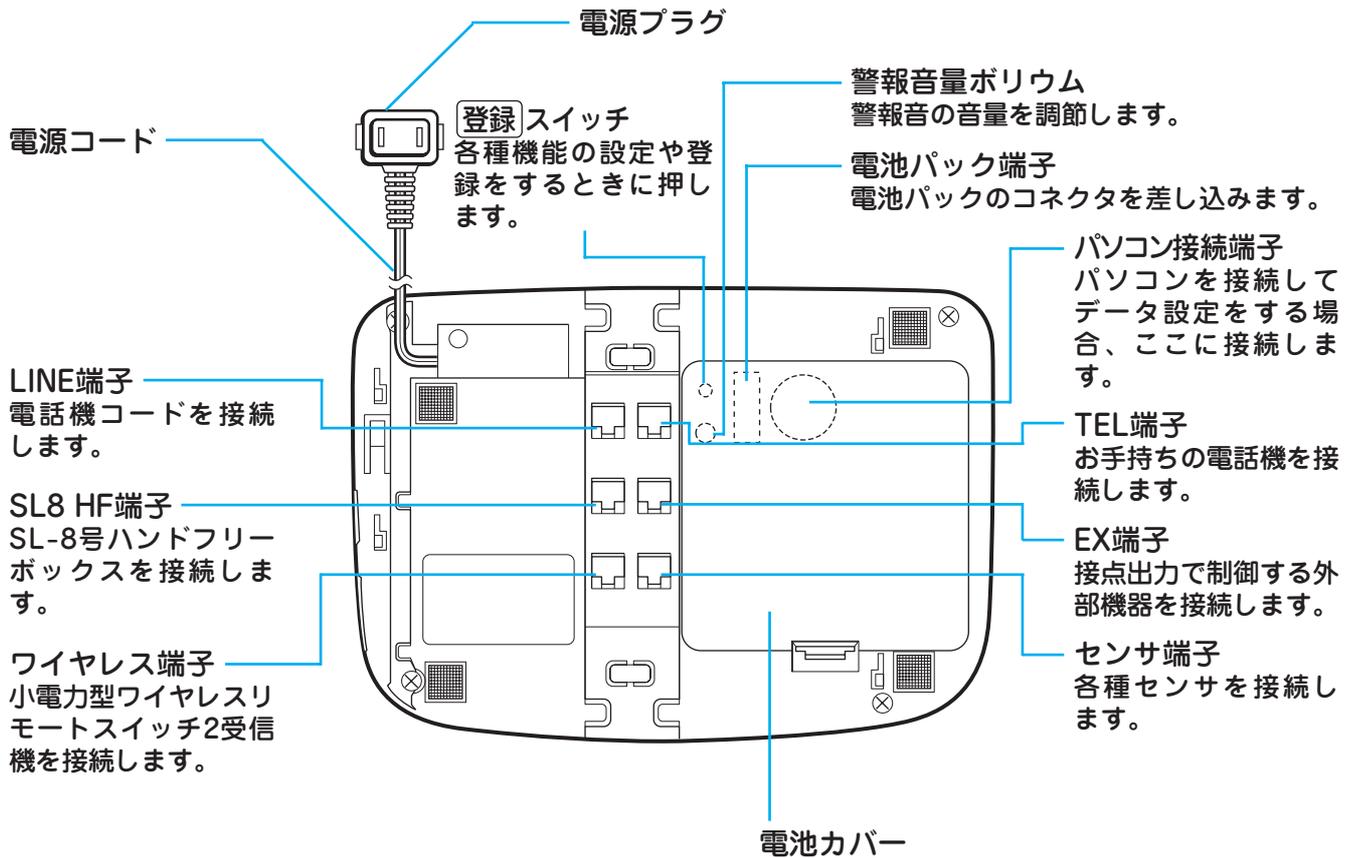
スピーカー音量 つまみ
相手の方の声の音量を調節するときに使います。(P26)



着信音量 スイッチ
電話がかかってきたときなどの呼び出し音の音量を調節するときに使います。(P26)

各部の名前とはたらき

底面



壁掛けにして使うには

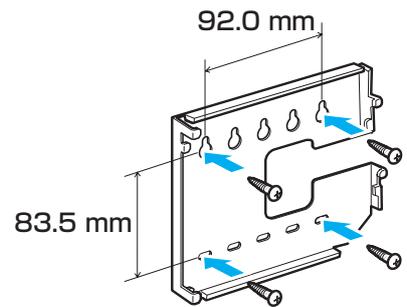
SL-8号BOXを壁掛けにして使用することができます。付属品の壁掛け金具で壁掛け用ネジ4本を使って壁や柱などに取りつけてご使用ください。

お使いになる前に

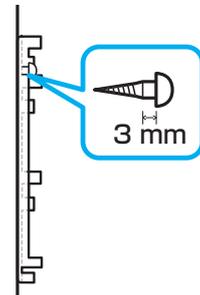
壁掛けにして使うには

SL-8号BOXを壁に取り付ける

- ① 4つのネジの取り付け位置（左右幅92.0 mm、上下幅83.5 mm）を決めます。



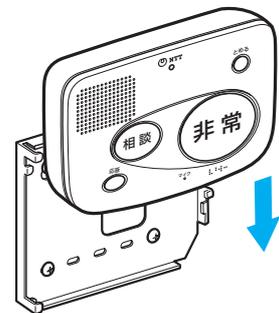
- ② 最初に上の2つのネジを壁に取り付けます。このときネジの頭を壁より約3 mm程度出した状態にしてください。



- ③ 壁掛け金具の上のひょうたん穴を壁に取り付けたネジにひっかけます。

- ④ 壁掛け金具の下の穴に残りの2本のネジを取り付け、上のネジの頭をねじ込み、壁掛け金具を固定します。

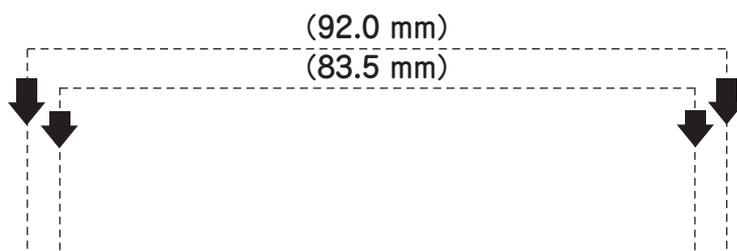
- ⑤ 壁掛け金具のピンとSL-8号BOX裏の溝を結合させます。SL-8号BOXを下にスライドさせながら金具にはめ込みます。



参考

- 直接壁や柱に取り付ける場合は、木ネジをご使用ください。
- JISボックス（JIS C8340:1999年）に取り付ける際は、メートルネジをご使用ください。
- JISボックスの大きさにあわせてネジ取り付け位置を調整してください。

壁掛け金具を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。



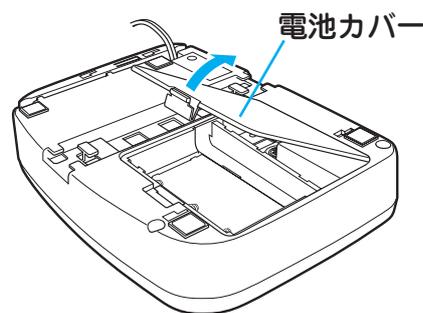
停電になったときのために

停電になったときでも緊急通報や相談電話ができるようにするためには、電池パック（充電式電池）または市販の単3アルカリ乾電池（6本）をセットします。

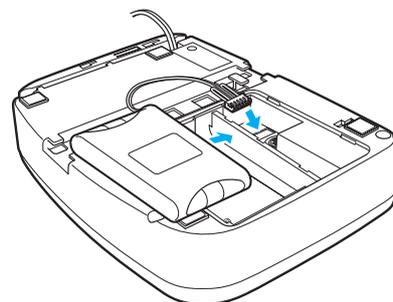
電池をセットする（電池パック）

停電中は電池が急激に消耗しますので、停電後には必ず充電してください。

- 1 電池カバーのツメを押し上げながら開けます。



- 2 電池パックのコネクタを電池パック端子に差し込み、電池パックを入れます。



- 参考**
- 電池パックのコネクタを差し込める方向は一方に決まっています。力を入れすぎないように注意して差し込んでください。

ワンポイント

- 電池パックの使用可能時間は☞フル充電の状態ですら約5時間使用できます。フル充電には48時間以上かかります。停電開始から約5時間以内であれば1回以上の緊急通報が可能です。ただし、オプション機器の接続の有無や、停電通報の状況、およびSL-8号BOXやオプション品の使用状態などによって、使用可能時間が短くなることがあります。

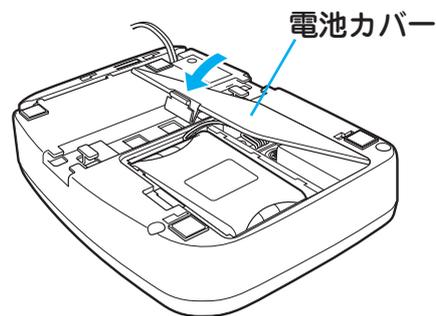
- 電池切れ通報（☞P30）を設定していると☞設定により電池の残量が少なくなると、連絡先に自動的に通報します。電池を入れなくてご使用の場合は、約1時間後に電池切れ通報します。

- 電池パック回収のお願い☞



電池パックはリサイクル可能なニカド電池です。交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

3 電池カバーを取り付けます。

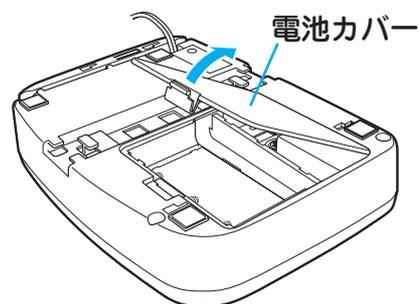


電池をセットする（乾電池）

電池パックの代わりに、市販の単3アルカリ乾電池（6本）をセットすることもできます。

アルカリ乾電池をお使いの場合、停電中は乾電池が急激に消耗しますので、停電後には新しい乾電池に交換してください。また、停電がない場合でも電池の使用期限（2年）ごとに交換してください。

1 電池カバーのツメを押し上げながら開けます。



⚠️ 危険

指定されていない乾電池は使用しないでください。種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の液もれ、破裂により、火災・けが・機器の故障の原因となることがあります。

消耗した乾電池は、すみやかに取り外してください。長期間放置しておくと、乾電池の液もれが発生するおそれがあり、火災・機器の故障の原因となることがあります。

ワンポイント

● 停電時の使用可能時間は👉

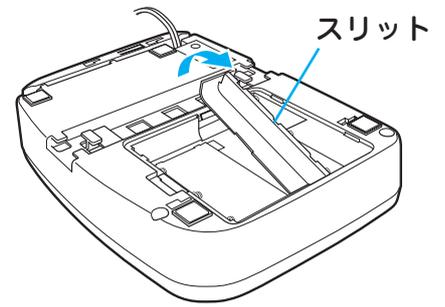
新品のアルカリ乾電池の場合、停電開始から約10時間以内であれば1回以上の緊急通報が可能です。ただし、オプション機器の接続の有無や、停電通報の状況、およびSL-8号BOXやオプション品の使用状態などによって、使用可能時間が短くなることがあります。

● 電池切れ通報（👉P30）を設定していると👉

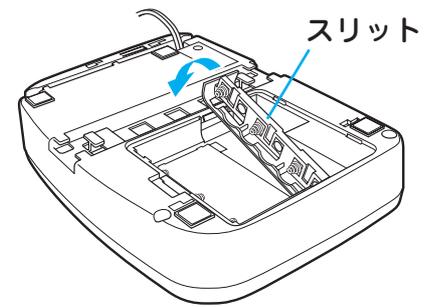
設定により電池の残量が少なくなると、連絡先に自動的に通報します。電池を入れなくてご使用の場合は、約1時間後に電池切れ通報します。

停電になったときのために

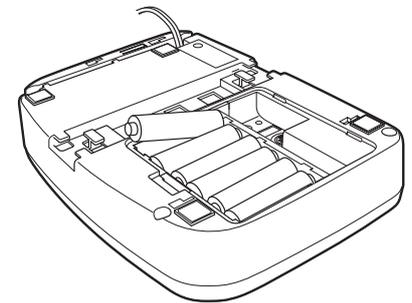
- ② スリットを取り外します。



- ③ スリットを逆向きに取り付けます。

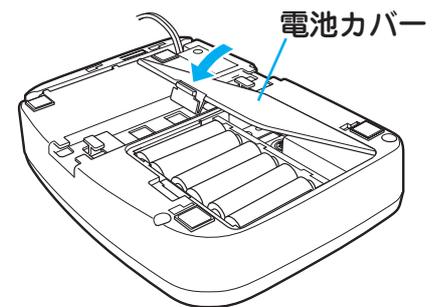


- ④ 乾電池を入れます。



乾電池の（+）・（-）の向きを確かめて正しく入れてください。

- ⑤ 電池カバーを取り付けます。



基本的な使いかた

ここでは、SL-8号BOXの
基本的な機能を説明します。



緊急通報するには	24
相談電話をかけるには	25
声や呼び出し音を調節するには	26
呼び出し音が鳴ったときは	27
お手持ちの電話機を接続して利用するには	28

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

緊急通報するには

からだの調子が悪いときなどに、登録してある緊急連絡先に通報できます。

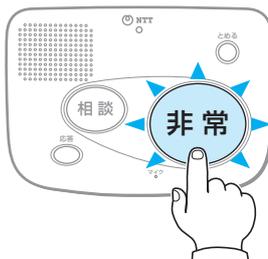
基本的な使いかた

緊急通報するには

1

非常 を押します。

「ピーポーピーポー緊急通報」という警報音が鳴り、緊急連絡先に電話がつながります。



2

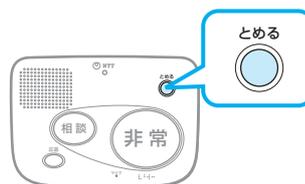
マイクに向かってお話しします。



ワンポイント

- まちがえて押したときは **とめる** を押します。通報や呼び出しが停止されます。SL-8号ハンドフリーボックスの **とめる** を押しても通報を停止します。

- 相手の方の声が聞こえにくいときは (☞P26)



相談電話をかけるには

ちょっと困ったときなどに、登録してある相談先にボタン1つで電話がかけられます。

基本的な使いかた

相談電話をかけるには

1

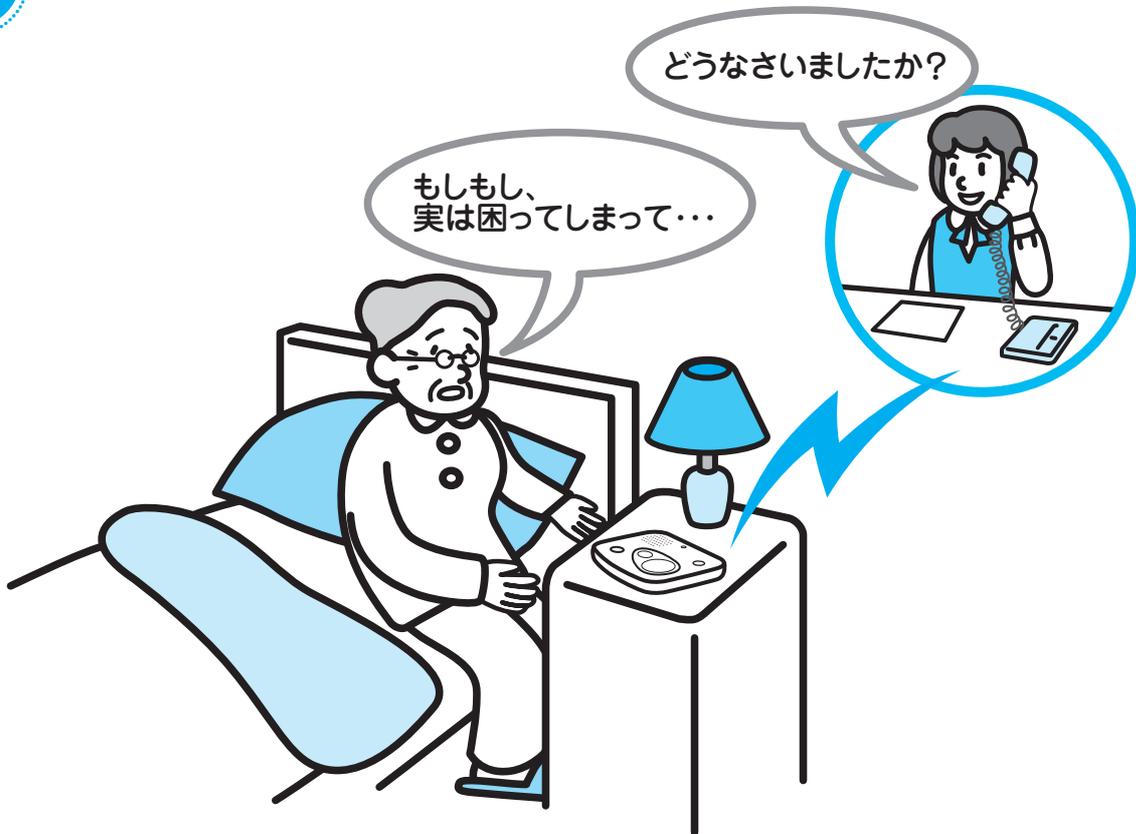
相談を押します。

相談先に電話がつながります。



2

マイクに向かってお話しします。



ワン
ポイント

● まちがえて押したときは

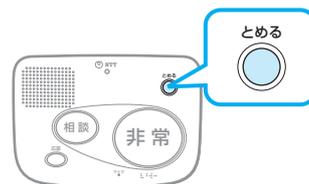
とめるを押します。

通報や呼び出しが停止されます。

SL-8号ハンドフリーボックスの **とめる**

を押しても通報を停止します。

● 相手の方の声が聞こえにくいときは (P26)



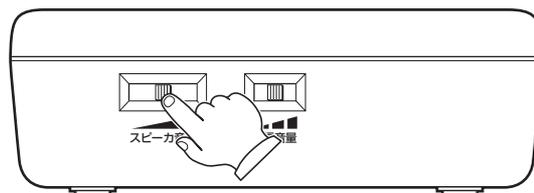
声や呼び出し音を調節するには

相手の方の声の音量を調節する

相手の方の声が聞き取りにくいときには、スピーカ音量を調節します。

スピーカ音量 つまみを動かします。

小 ←→ 大



参考

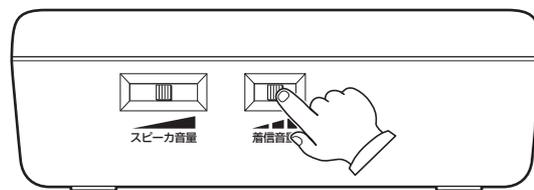
- 音量を大きくした場合、周囲の騒音が大きい環境等では通話が片方向になることがあります。

呼び出し音の音量を調節する

電話の呼び出し音の大きさは、着信音量スイッチで調節します。「大」「中」または「切」に切り替えられます。

着信音量 スイッチを切り替えます。

切 ←→ 中 ←→ 大



ワンポイント

- 「切」に切り替えると☞

呼び出し音が鳴らなくなります。呼び出されたときには「応答」ボタンの点滅だけでお知らせします。

呼び出し音が鳴ったときは

電話がかかってきたときには呼び出し音が鳴り、**応答**が点滅します。
応答を1つ押すだけでお話しできます。

- 1** ランプが点滅している間に、**応答**を押します。

相手の方とつながります。



- 2** マイクに向かってお話しします。

××ですが、
お変わり
ありませんか？

もしもし



- 3** お話しがおわったら、もう一度**応答**を押します。

通話が切れます。



基本的な使いかた

呼び出し音が鳴ったときは



- 相手の方の声が聞こえにくいときは (☞P26)
- 呼び出し音の鳴り方は☞
外からかかってきたときは「プルルル…プルルル…」と鳴ります。

お手持ちの電話機を接続して利用するには

SL-8号BOX本体には、お手持ちの電話機が接続できます。(☞P61) 接続した電話機では、通常どおり電話をかけたり受けたりすることができます。

基本的な使いかた

お手持ちの電話機を接続して利用するには



参考

- お手持ちの電話機の詳しい使い方については、電話機の取扱説明書を参照してください。
- 他の通信機器（FAX等）は、本商品のTEL端子に接続してください。
- 緊急通報が正常に行われない場合がありますので、電話回線を他の通信機器（FAX等）を経由してSL-8号BOXに接続しないでください。
- ご使用になる機器によってはご使用になれない場合もあります。
- 緊急通報による強制切断により、お手持ちの電話機等の動作に影響が発生するおそれがあります。
- ナンバー・ディスプレイ対応やLモード対応の電話機をご使用になる場合は、設定の変更が必要になります。(☞P54、59)

便利な機能



便利な機能のご紹介30

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SLE8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

便利な機能のご紹介

通常は、みなさまがご自分で操作されることはありませんが、知っておいていただきたいSL-8号BOXの便利な機能をご紹介します。

緊急通報優先機能（強制切断機能）

SL-8号BOXに他の電話機が接続されているときに、**非常** が押されたりセンサからの異常が検出されると、他の電話機の通話を強制的に終了し、優先的に通報を行うことができます。

参考

- 通報を行うために他の電話機の通話を強制的に終了するときは、通話を強制終了することを知らせるメッセージ「緊急通報のため電話を切ります」が流れます。通報中は、他の電話機は無音になり、使用できなくなります。

センサ通報機能

SL-8号BOXには、市販の火災、ガスもれや防犯用などのセンサを4つまで接続することができます。

これらのセンサが異常を感知すると、センサからSL-8号BOXに通報され、SL-8号BOXが「ピーポーピーポーピーポー、火災発生」などの警報音や警報メッセージを鳴らし、さらにあらかじめ登録してある通報先に通報することができます。

電池切れ検出機能・電池切れ通報機能

停電やコンセント抜けなどでSL-8号BOXの電池の容量が一定より下がると、スピーカから「電池切れです」というメッセージが3回流れます。また設定により電池切れが近いことを、あらかじめ登録してある連絡先に通報することもできます。

参考

- 停電になってから電池切れ通報を行うまでの時間は、SL-8号BOXやSL-8号ハンドフリーボックスの使用状況や、停電通報の動作状況により異なります。

定時通報機能

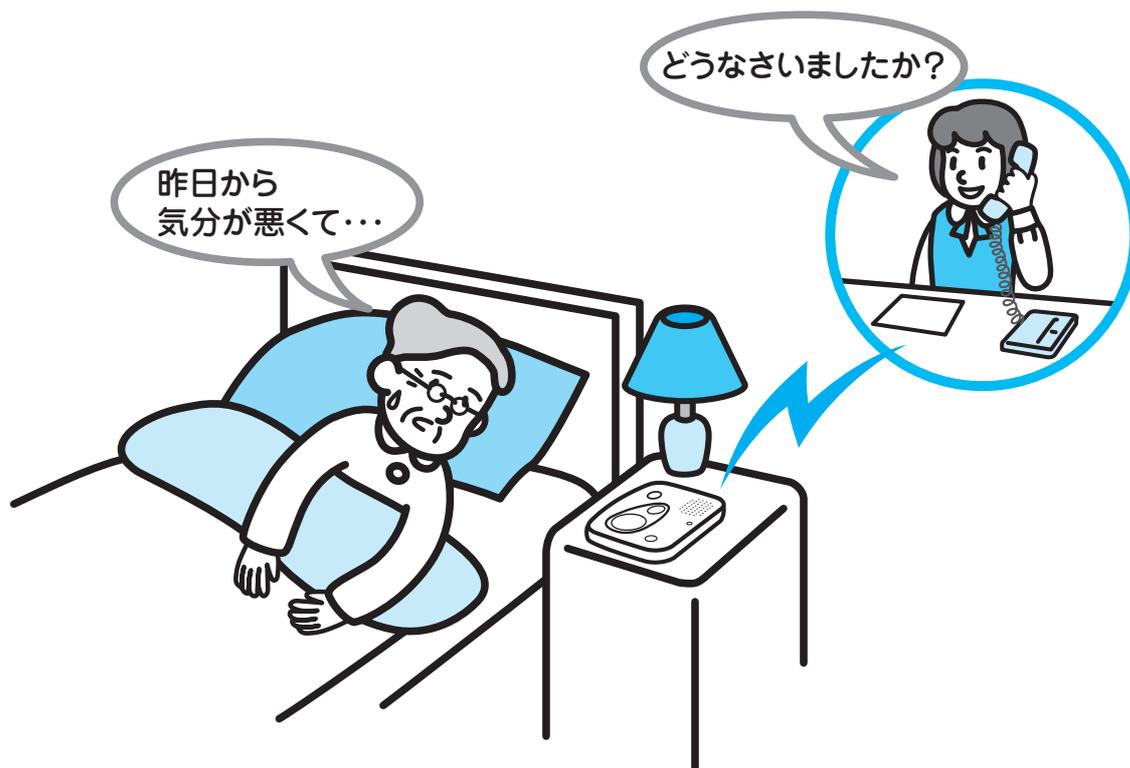
ご使用のSL-8号BOXや電話回線に異常がないことを確認するためにあらかじめ設定した間隔ごとに、自動的に通報先への定時通報を実施することができます。

たとえば、毎日午後2時の定時通報を設定していた場合、その時刻に定時通報が行われなかったときには、SL-8号BOXや電話回線に異常が発生したことがわかります。

生活周期異常通報機能

ドアやトイレなどに取り付けたセンサを通じて、一定時間以上センサの起動がない場合に通報する機能です。

たとえば、24時間に設定していた場合は、24時間の間に一度もトイレやお部屋への出入りがなかったときには、通報先で異変を察知できます。



便利な機能のご紹介

テレコントロール

緊急連絡先の電話機から、SL-8号BOXをハンズフリー通話できるようにしたり、マイクのオン/オフを切り替えるなどの遠隔操作（テレコントロール）をすることができます。

テレコントロールは、緊急通報時の通話開始後の30秒間に、遠隔操作内容に対応したダイヤルボタン（数字）を押し、プッシュ信号を送ることによって行います。

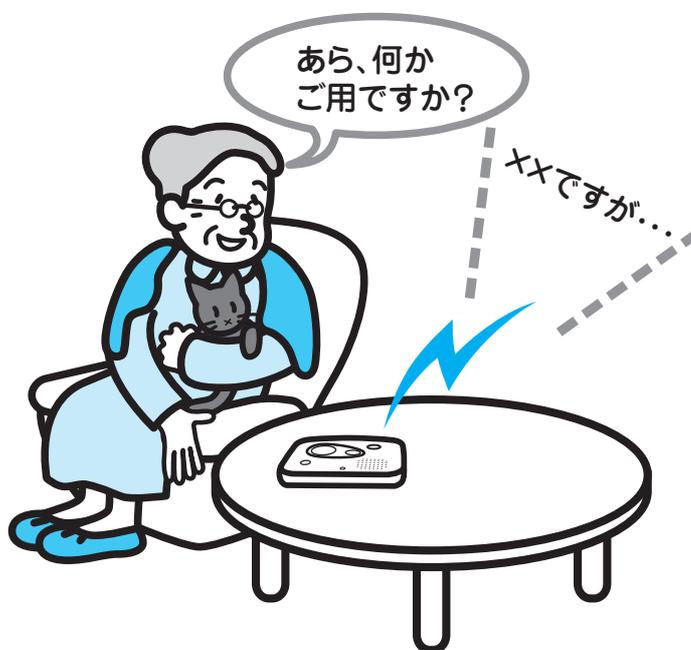
参考

- テレコントロールが正しく行われると、「ピッピッ」という音が聞こえます。
- テレコントロールでの操作を終了する場合は、⑨⑩と押します。「ピー」という音が聞こえ、通話が切れます。

操作内容	ダイヤルボタン
SL-8号BOXでハンズフリー通話ができるようにする	① ① ⑩
SL-8号ハンズフリーボックスでハンズフリー通話ができるようにする	② ① ⑩
音声通報メッセージを再生する	③ ① ⑩
通報の異常終了	④ ① ⑩
スピーカをオンにして、マイクもオンにする	④ ⑩
スピーカをオフにして、マイクの感度をアップする	④ ② ⑩
スピーカをオンにして、マイクをオフにする	⑤ ⑩
ハンズフリー通話時間を延長（無限）する	⑥ ⑩
接点出力1動作	⑦ ⑩
一斉に呼び出す（SL-8号BOXとSL-8号ハンズフリーボックスを同時に、スピーカをオンにして、マイクをオフにする）	⑦ ① ⑩
接点出力2動作	⑦ ② ⑩
接点出力1復旧	⑧ ⑩
接点出力2復旧	⑧ ② ⑩
電話を切る（他の連絡先に通報せずに、通報を完了する）	⑨ ⑩

着信自動応答機能

電話がかかってきたときに、自動的に応答させることができます。自動的に応答すると、「ただいま留守です。後ほどお掛け直してください」というメッセージを送出します。この時、相手の方の声がスピーカから聞こえますが、こちらの声や音は相手の方には聞こえません。なお、設定されてある時間が経過すると、自動的に通話が切れます。そのままお話しを続けたい場合は、通話中に **応答** を押してください。



参考

- 設定されてある時間が経過する前に通話を終了させるには、**とめる**を押してください。
- 設定により以下のようなことなどができます。
 - 相手の方からの暗記番号の操作により、ハンズフリー通話を開始可能とする（初期値：不可）
 - メッセージを送出しない（初期値：送化する）
 - 自動応答するまでの時間を変更する（初期値：90秒）
 - 自動応答してから通話を切るまでの時間を変更する（初期値：3分）

便利な機能のご紹介

常夜灯

SL-8号BOXの **非常** ボタンと **相談** ボタンは、夜間や明かりのない暗い場所でもボタンの場所が分かるように、常夜灯として弱い光で常時点灯させることができます。

参考

- 緊急通報中や相談電話をしている時は、 **非常** ボタンや **相談** ボタンが点灯します。この時、常夜灯は消灯します。
- 詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

オプションを利用する



オプションのご紹介36
オプションを接続して使うには38

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

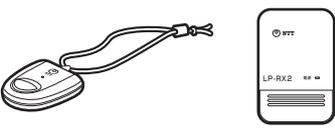
こんなときには

設定と接続方法

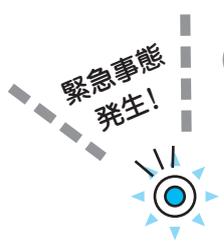
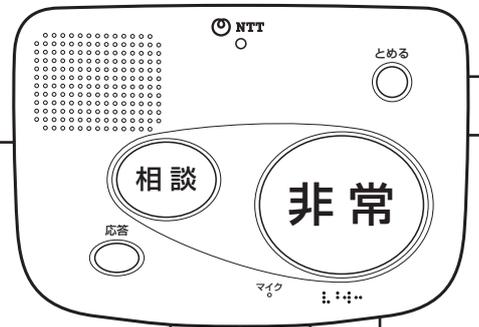
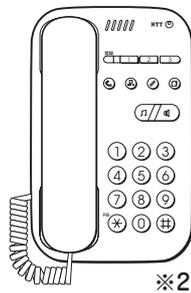
付
録

オプションのご紹介

SL-8号BOXには、より便利にお使いいただくための各種オプションが用意されています。

小電力型ワイヤレス リモートスイッチ2 (P38)	SL-8号ハンドフリー ボックス (P42)	リモートスイッチS※3 (P46)
 <p>ペンダント型送信機 受信機</p>		

当社取扱品以外にも、お手持ちの電話機（最大1台）や市販のセンサ※1（火災センサ／ガスもれセンサ／生活リズムセンサなど最大計4台）を接続してご利用いただけます。（P31、39）



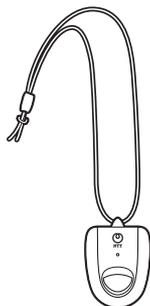
通報



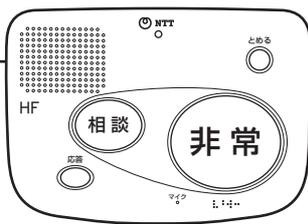
オプションを
利用する

オプションのご紹介

- ※1 SL-8号BOXで使用できるセンサの詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。（センサは、無電圧接点のものが使用できます。）
- ※2 ご使用になる機器によってはご使用になれない場合もあります。緊急通報による強制切断により、通話ができなくなる場合があります。
- ※3 SL-8号BOXのセンサ端子に接続することもできます。



いつも身につけていられるペンダント型なので、SL-8号BOXから少し離れたところにいるときでも安心です。(P38)



ハンドフリーボックスのボタンを押して緊急通報したり、相談電話をかけることもできます。(P47)



リモートスイッチSのスイッチを押すだけで、緊急通報できます。(P46)



オプションを利用する

オプションのご紹介

オプションを接続して使うには

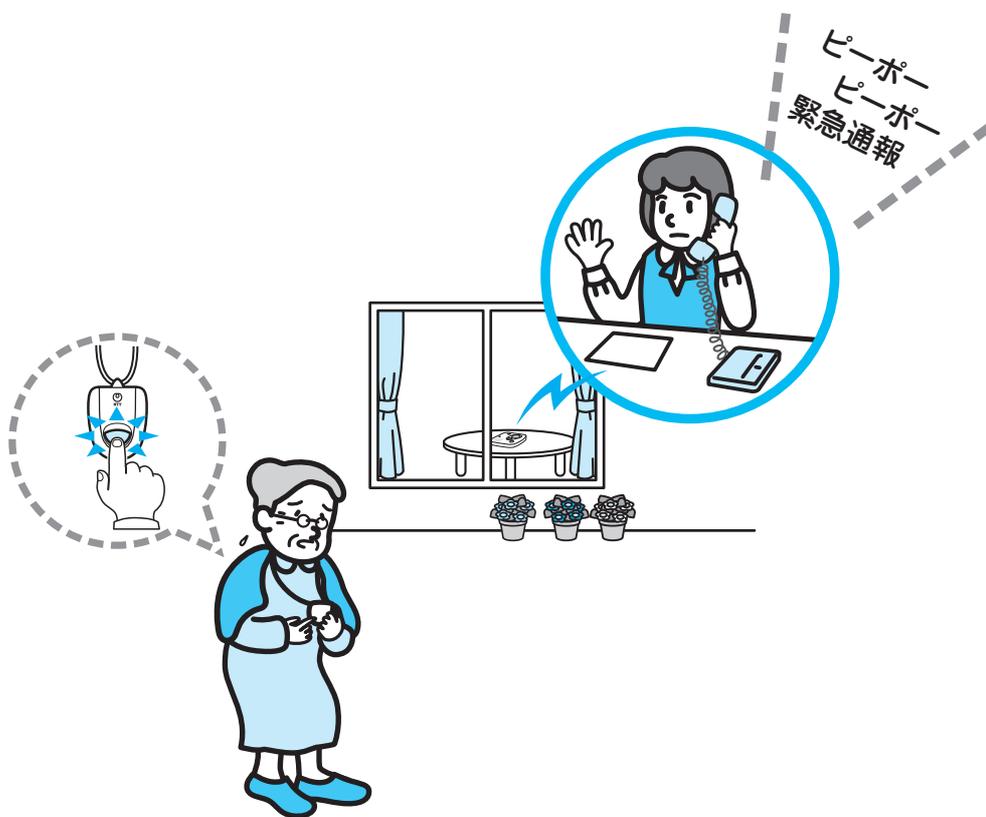
接続したオプションを使って、緊急通報したり相談電話をかけたりする方法をご紹介します。

小電力型ワイヤレスリモートスイッチ2

SL-8号BOXから少し離れたところや家の外にいるときなどでも、緊急連絡先に通報できます。ただし、ワイヤレスリモートスイッチでお話することはできません。

送信機のボタンを押します。

ランプが点滅し、緊急連絡先に通報します。

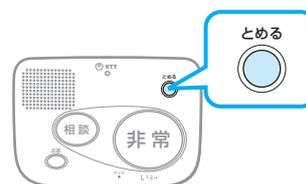


オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

ワンポイント

- まちがえて押したときは👉
とめるを押します。
通報や呼び出しが停止されます。
SL-8号BOXハンドフリーボックスの とめる
を押しても通報を停止します。



参考

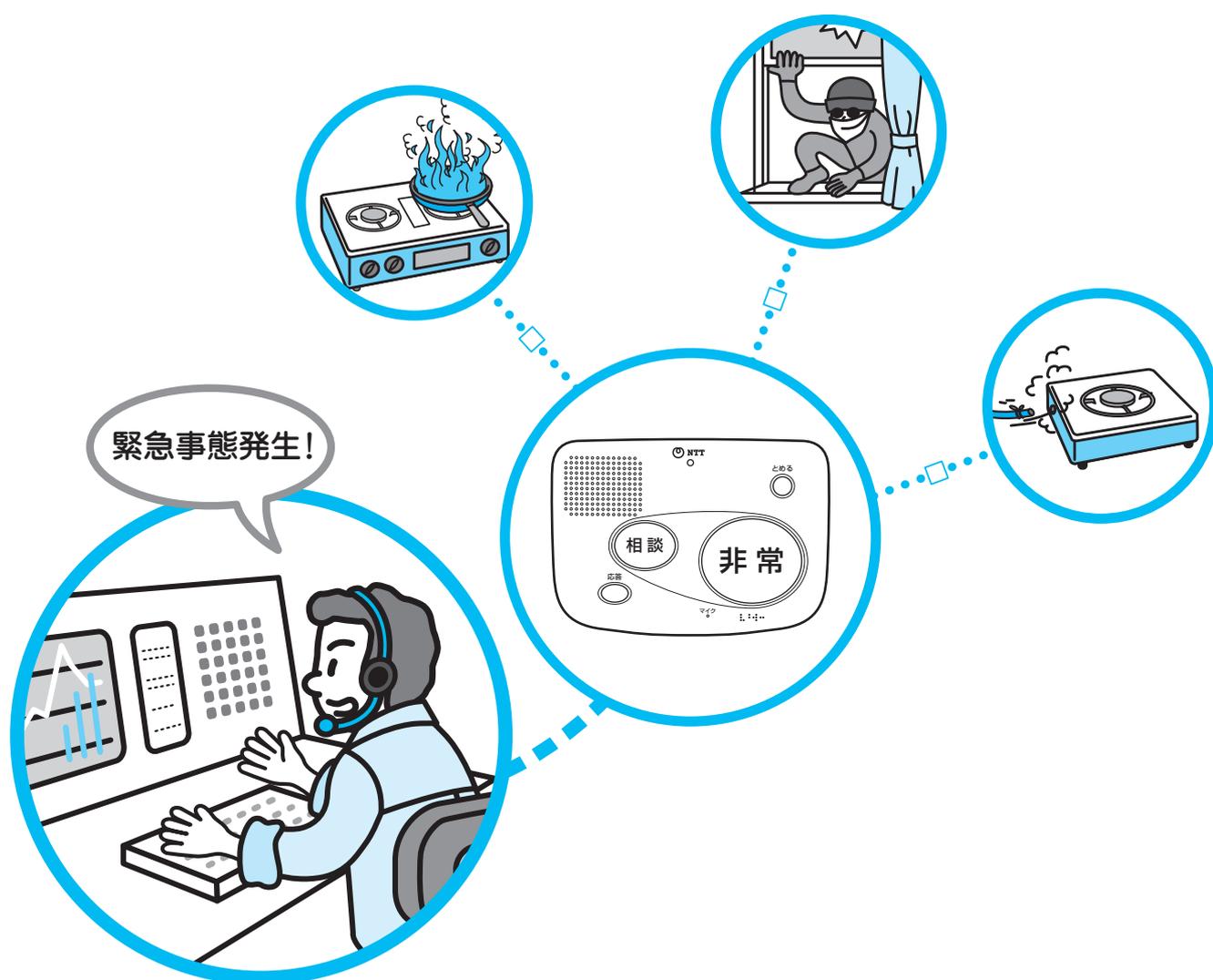
- 送信機をご利用になるには、受信機 (👉P36) をSL-8号BOXに接続しておく必要があります。

各種センサ

SL-8号BOXには、火災、ガスもれ、防犯用などの市販のセンサを4つまで接続することができます。
センサが異常を感知すると、SL-8号BOXが警報音を鳴らし、あらかじめ登録してある通報先に自動的に通報します。

通報先が応答すると、警報音が停止します。

みなさまがお留守のときでも、一定の時間SL-8号BOXがマイクでお部屋の様子（物音など）を通報先に伝えることもできます。

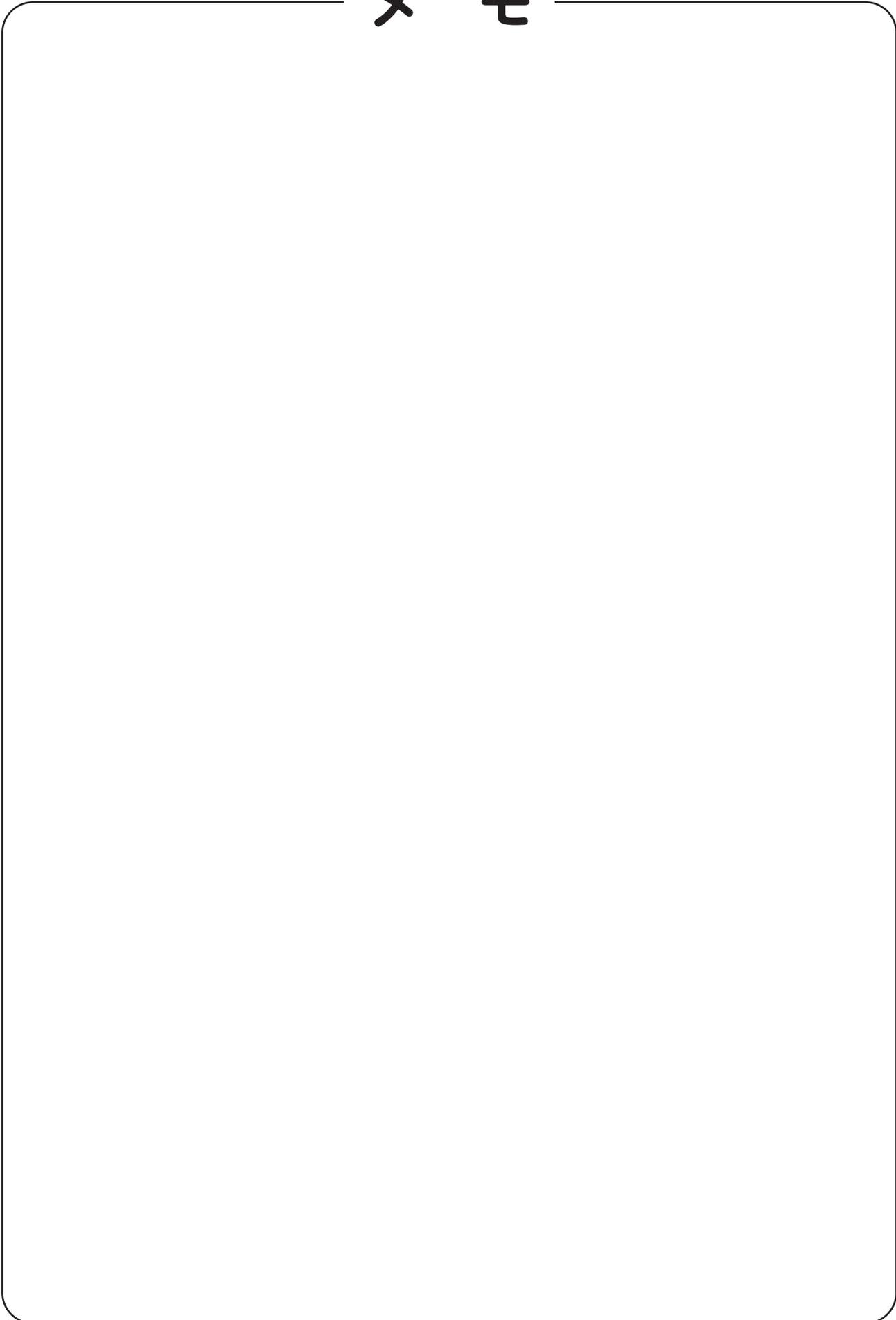


オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

- SL-8号BOXで使用できるセンサの詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。（センサは、無電圧接点のものが使用できます。）

メモ



オプションを
利用する

SL-8号ハンドフリーボックス(オプション)を活用する

ここでは、SL-8号ハンドフリーボックスをお使いになる前に
知っておいていただきたいことをまとめています。



SL-8号ハンドフリーボックスでできること	42
セットの確認	43
各部の名前とはたらき	44
声や呼び出し音を調節するには	45
SL-8号ハンドフリーボックスの使いかた	46

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL-8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

SL-8号ハンドフリーボックスでできること

SL-8号ハンドフリーボックスは、SL-8号BOXと同じように簡単な操作で緊急通報や相談電話がかけられます。ハンドフリーボックスにリモートスイッチSを接続しているときは、お手元のスイッチを押して緊急通報することもできます。

SL-8号BOXと同じように、かかってきた電話が受けられます。

緊急通報 (☞P46)

非常 を押すだけで、緊急連絡先に電話がつながります。



相談電話 (☞P47)

相談 を押すだけで、登録してある相談先に電話がかけられます。



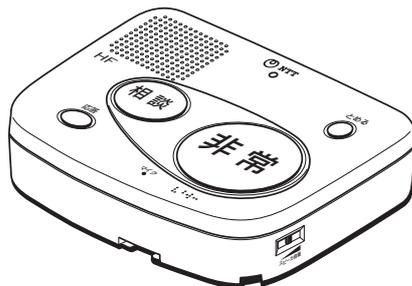
参考

- SL-8号BOXのセンサ3を使用する場合は、**相談** ボタンが利用できません。

セットの確認

次のものがそろっているか、お確かめください。

本体

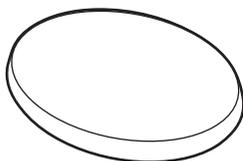


SL-8号ハンドフリーボックス

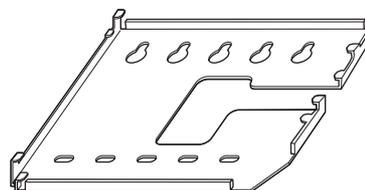
付属品



電話機コード（2本）



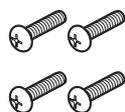
相談ボタン
目隠しキャップ
（1個）



壁掛け金具
（1個）



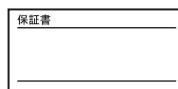
木ネジ4本



メートルネジ4本
（JISボックス用）
ネジ（8本）



セットを
ご確認ください
（1枚）



保証書
（1枚）



「NTT通信機器お取扱
相談センター」シール
（1枚）

- セットに足りないものがあった場合などお気づきの点がありましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。



- 壁掛けにして使うには👉

SL-8号BOXと同じように壁に掛けて使用することができます。（👉P19）

- 相談ボタンを使用しないときは👉

まちがえて相談ボタンを押さないように、相談ボタン目隠しキャップをボタンの上にかぶせてご使用ください。

- 相談ボタンを使用するときは👉

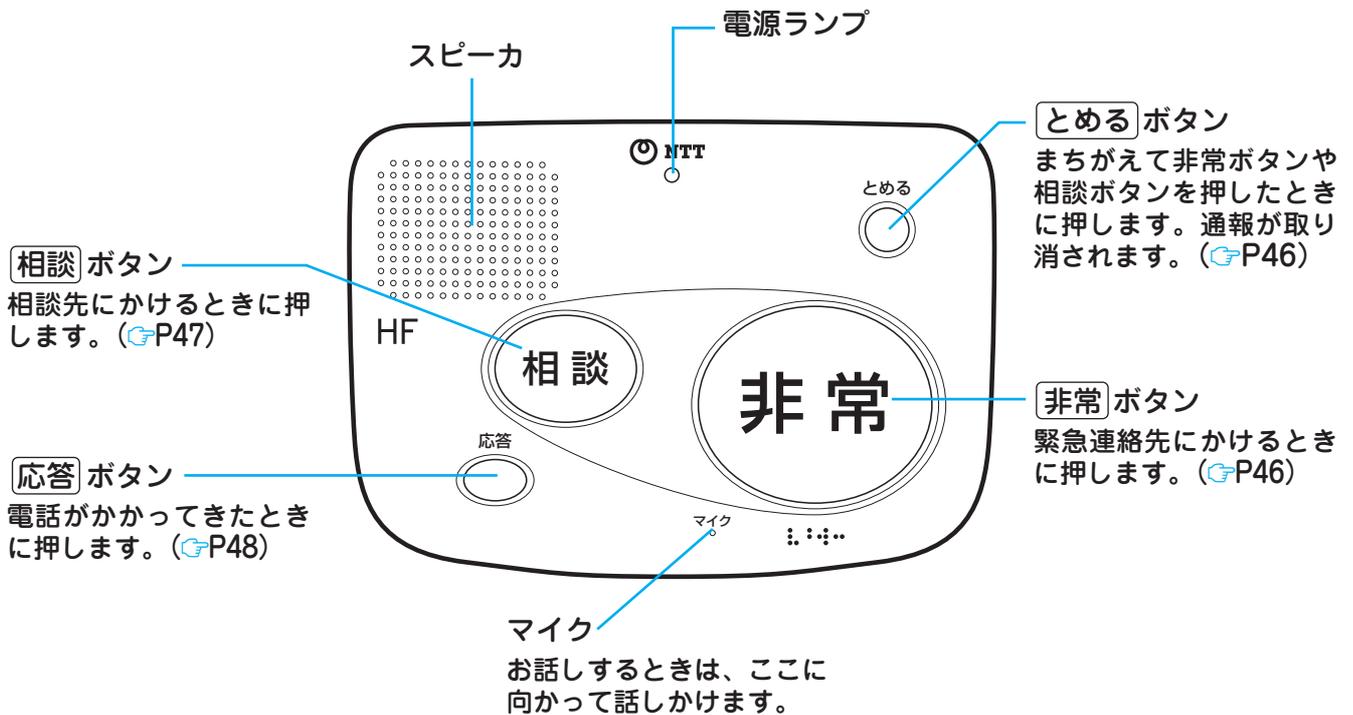
本書には記載されていない設定変更が必要です。当社のサービス取扱所までご連絡ください。（有料）

SL-8号ハンドフリー
ボックス（オプション）
を活用する

セットの確認

各部の名前とはたらき

前面

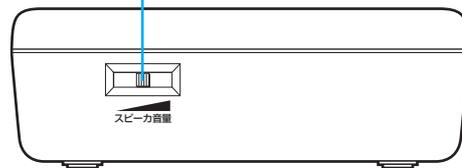


参考

- SL-8号BOXのセンサ3を使用する場合は、**相談**ボタンが利用できません。

右側面

スピーカー音量つまみ
相手の方の声の音量を調節するときに使います。(P45)

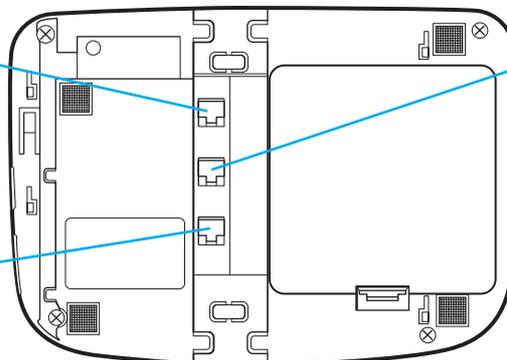


底面

SL8TEL/BOX端子
SL-8号BOXに接続します。

リモートスイッチ端子
別売品のリモートスイッチSをご使用の場合、ここに接続します。

相談ボタン端子
SL-8号ハンドフリーボックスの相談ボタンを使用するときにSL-8号BOXのセンサ3を接続します。

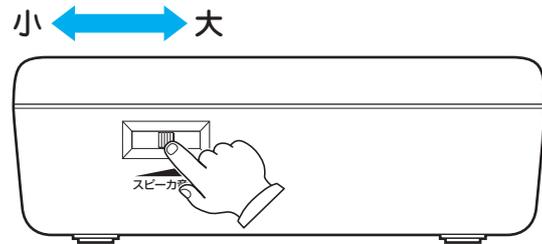


声や呼び出し音を調節するには

相手の方の声と呼び出し音の音量を調節する

相手の方の声が聞き取りにくいときや、電話の呼び出し音の大きさを
変えたいときには、スピーカ音量を調節します。

スピーカ音量 つまみを動か
します。



SL-8号ハンドフリーボックスの使いかた

SL-8号BOXから離れた場所にいるときでも、SL-8号ハンドフリーボックスから緊急通報や相談電話がかけられます。SL-8号ハンドフリーボックスにリモートスイッチSを接続しているときは、お手元のスイッチを押して緊急通報することもできます。

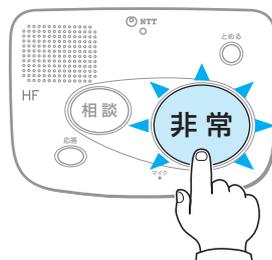
SL-8号BOXと同じように、かかってきた電話が受けられます。

SL-8号ハンドフリーボックスで緊急通報する

1

非常 を押します。

警報音が鳴り、緊急連絡先に電話がつながります。



2

マイクに向かって
お話しします。

気分が悪いのですが
来ていただけますか？

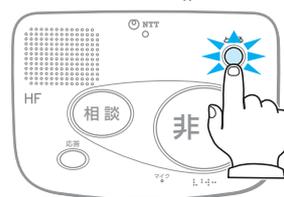
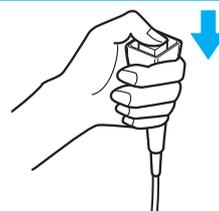
すぐに
うかがいます



ワン
ポイント

● リモートスイッチSで緊急通報するには☞
スイッチを押します。緊急連絡先につながった
ら、マイクに向かってお話しします。

● まちがえて押したときは☞
とめる を押します。通報や呼び出しが停止されます。
SL-8号BOXの とめる を押しても通報を停止します。

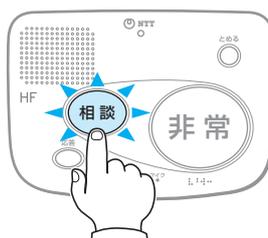


SL-8号ハンドフリーボックスで相談電話をかける

1

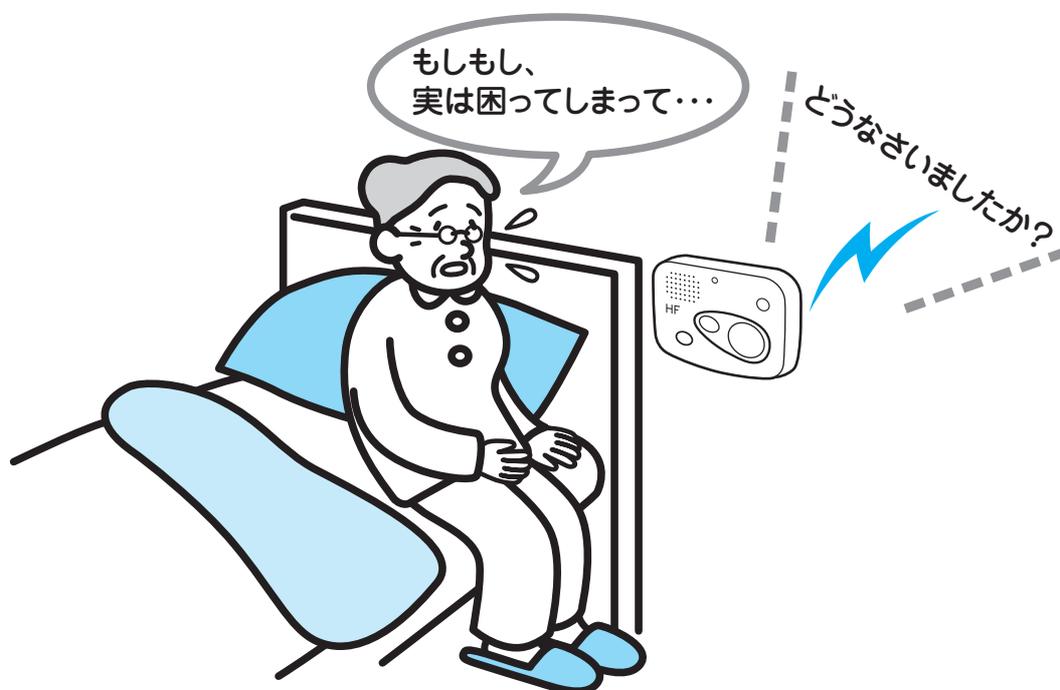
相談 を押します。

相談先に電話がつながります。



2

マイクに向かって
お話しします。



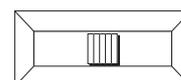
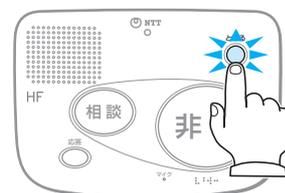
参考

- この機能を使用するためには、本書には記載されていない設定変更が必要です。当社のサービス取扱所までご連絡ください。(有料)
- SL-8号BOXのセンサ3を使用する場合は、**相談** ボタンが利用できません。

ワン
ポイント

- まちがえて押したときは👉
とめる を押します。通報や呼び出しが停止されます。
SL-8号BOXの **とめる** を押しても通報を停止し
ます。

- 相手の方の声が聞こえにくいときは👉
スピーカ音量つまみで調整します。(👉P45)



スピーカ音量

SL-8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

SL-8号ハンドフリーボックスの使いかた

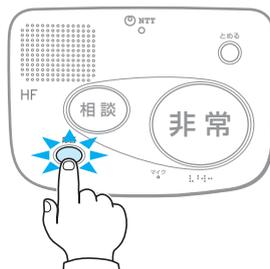
SL-8号ハンドフリーボックスの使いかた

呼び出し音が鳴ったときに電話に出る

1

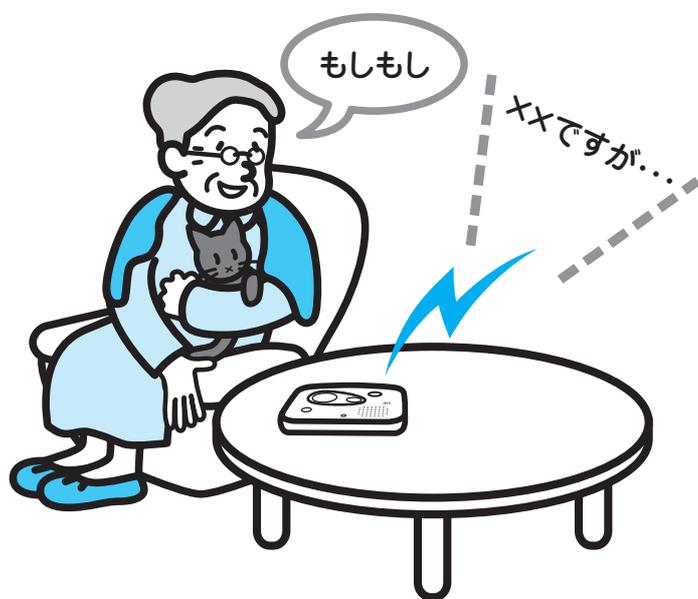
応答 を押します。

相手の方とつながります。



2

マイクに向かってお話しします。



3

お話しがおわったら、もう一度

応答 を押します。

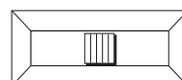
通話が切れます。



● 呼び出し音の鳴り方は☞

外からかかってきたときは「プルルル…プルルル…」と鳴ります。

● 相手の方の声が聞こえにくいときは☞
スピーカ音量つまみで調整します。(☞P45)



スピーカ音量

こんなときには



停電になったときは	50
故障かな?と思ったら	52

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SL8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付録

停電になったときは

SL-8号BOXに停電時のための電池パックまたは市販のアルカリ乾電池が取り付けられていれば、停電のときでも一定時間、通報などが行えます。

停電になったとき

スピーカから「停電です」というメッセージを3回流します（停電検出機能）。

停電になったことを、登録した連絡先に自動的に通報するように設定しておくこともできます（停電通報機能）。

停電中は

■ 停電用電池で動作しているとき

電池パックの場合、停電開始から約5時間以内であれば1回以上の緊急通報を行うことができます。ただし、停電時の動作可能時間は、オプション機器の接続有無や停電通報の状況、および電話機の使用状態などで、停電から5時間以内であっても、緊急通報を行えないことがあります。

新品のアルカリ乾電池の場合、停電開始から約10時間以内であれば1回以上の緊急通報を行うことができます。ただし、停電時の動作可能時間は、オプション機器の接続有無や停電通報の状況、および電話機の使用状態などで、停電から10時間以内であっても、緊急通報を行えないことがあります。

■ 停電用電池が切れたとき

電池の残量が少なくなると、スピーカから「電池切れです」というメッセージを3回流します。電池が切れたときは、通報を行えません。TEL端子に接続された電話機からは、電話をかけたり受けたりすることはできません。



- 電池切れ通報を設定していると👉
電池の残量が少なくなると、連絡先に自動的に通報します。
電池を入れなくてご使用になると、約1時間後に電池切れ通報します。

停電が終わったとき

停電が終わったことを、登録した連絡先に自動的に通報するように設定しておくこともできます（復電通報機能）。

また、停電中は電池が急激に消耗します。停電が終わったら、電池パックを充電するか、乾電池を新品と交換してください。



警告

電源プラグが正しく差し込まれていないと、平常時に「停電です」というメッセージが流れてしまったり、通報が行われてしまったりすることがあります。電源プラグは正しく差し込み、決して抜かないでください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、次の点をご確認ください。

SL-8号BOXのトラブル

こんなとき	確認してください	対 処	参照ページ
動作しない	電源プラグが抜けていませんか？	正しく接続してください	P60
	停電中ではありませんか？	故障ではありません	P50
相手の方の声が聞き取りにくい	スピーカ音量が小さく設定されていませんか？	スピーカ音量を大きくしてください	P26
呼び出し音が聞こえにくい	着信音量が小さく設定されていませんか？	着信音量を大きくしてください	P26
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がります	故障ではありません	—
電池を交換したばかりなのに「電池切れです」というメッセージが送出される	正しくセットされているか確認してください	正しくセットしてください	P20、21
停電していないのに「停電です」というメッセージが送出される	電源プラグが抜けていませんか？	正しく接続してください	P60
SL-8号ハンドフリーボックスの相談ボタンが使用できない	相談用の接続端子に電話機コードが正しく接続されていますか？	正しく接続してください	P60
	設定が正しくできていますか？	登録・設定は当社のサービス取扱所までご連絡ください	—

設定と接続方法



配線・設置・設定の手順	54
システムデータ設定P90一覧	59
配線のしかた	60

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

SLE8号ハンドフリー
ボックス(オプション)
を活用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

配線・設置・設定の手順

本書では、すべての機能を使用するための記載をしていません。記載されていない内容の設定等を行う場合は、当社のサービス取扱所までご連絡ください。(有料)

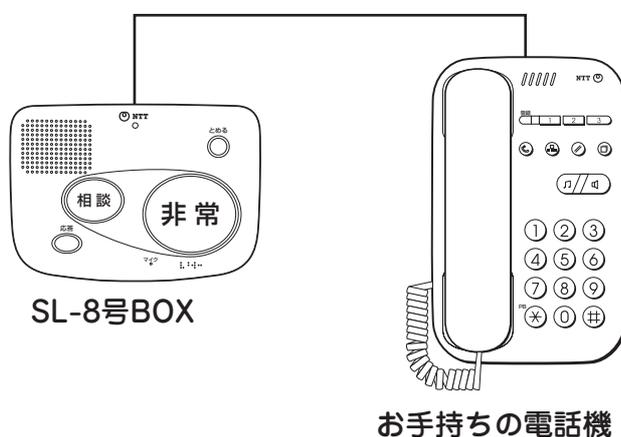
① 商用電源以外の配線を行います。(☞P60)

② 電池を取り付けます。(☞P20、21)

手順3を行うまで、電池や電源の使用は開始されません。

③ 電源プラグを差し込みます。

④ 設定を行います。(☞P55～58)



設定は、SL-8号BOX本体および接続しているすべての機器が待機状態であることを確認してから行ってください。

なお、停電時などに電池（電池パックあるいは乾電池）を電源として動作している場合も設定を行うことはできません。

⑤ 設定内容が正しく動作するか、動作確認をします。

ワン
ポイント

● パソコンを利用して設定する方法☞

パソコンで設定を行うことができます。パソコンでの登録・設定方法については、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。(有料)

● 待機状態とは☞

SL-8号BOX本体を各種通報や相談電話で使用していない。SL-8号BOX本体に接続したほかの電話機から電話を受けたり、かけたりしていない。さらに、SL-8号ハンドフリーボックスを各種通報や相談電話で使用していない状態のことです。

● システムデータP90（ダイヤル種別や着信拒否など）以外の設定を行う場合は☞
当社のサービス取扱所までご連絡ください。

● 設定内容に関するお願い☞

設定内容はメモにとるなどして保管くださるようお願いいたします。

● 設定後の動作確認に関するお願い☞

各種設定後は、必ず関連する全ての機能が正常に動作することを確認してください。

システムデータを設定する

SL-8号BOXに接続したお手持ちの電話機を使って、音声ガイダンスに従ってボタン操作することで各種機能の設定を行うことができます。

① 「システムデータ設定P90一覧 (☞P59)」を参照して、設定データ番号と設定値を確認し、紙にメモします。

② SL-8号BOX本体が待機状態であることを確認してください。

③ SL-8号BOX本体の電池カバーの内側にある **登録** スイッチを約3秒間押します。

電源ランプが点滅し、「ピー」という登録音が鳴ります。

登録 スイッチは本体の底面の電池カバー内側にあります。

④ 電話機のハンドセットを取り上げます。

電源ランプが点灯し、「システムデータを設定します」という音声ガイダンスが聞こえます。

⑤ ⑨ ① ③ と押します。

現在の設定内容が聞こえます。

設定値については、「システムデータ設定P90一覧」を参照してください。(☞P59)

例：「P90は、31101100です」(初期値)

3 1 1 0 1 1 0 0

- └─ 使用しません
- └─ 使用しません
- └─ キータッチ音 (0~1)
- └─ 電源ランプ、常夜灯 (0~3)
- └─ ナンバー・ディスプレイサービスの有無 (0~1)
- └─ SL-8号ハンドフリーボックスの着信拒否 (0~2)
- └─ SL-8号BOX本体の着信拒否 (0~2)
- └─ ダイヤルの種別 (0~3)

配線・設置・設定の手順

- ⑥ 手順1で紙にメモした設定値（8桁）を入力します。
例：ダイヤルの種別を「0：PB」にする場合（ほかは初期値のまま）
「01101100」と入力します。
- ⑦ 音声ガイダンスで設定内容を確認し、ハンドセットを置き登録を終了します。
入力した値が間違っているときは、「設定できません」という音声ガイダンスが聞こえ、手順5へ戻ります。

- ダイヤル種別を「自動」以外から「自動」に設定変更した場合は、設定後にテスト通報（**とめる** ボタンと **非常** ボタンを同時に押下すると起動します。）を実施する必要があります。テスト通報を実施しないと、SL-8号BOXの通報機能等が使用できませんのでご注意ください。



- 設定を中止するには  SL-8号BOX本体の **とめる** を押すか、電話機のハンドセットを置きます。

例：ダイヤル種別を設定する

- 1 SL-8号BOX本体の電池カバーの内側にある **登録** スイッチを約3秒間押しします。

電源ランプが点滅し、「ピー」という登録音が鳴ります。

登録スイッチは本体の底面の電池カバー内側にあります。

- 2 電話機のハンドセットを取り上げます。

電源ランプが点灯し、「システムデータを設定します」という音声ガイダンスが聞こえます。

- 3 ⑨ ① ③ と押します。

現在の設定内容が聞こえます。

設定値については、「システムデータ設定P90一覧」を参照してください。(P59)

- 4 8桁の設定値を入力します。

「0：PB」にする場合（ほかは初期値のまま）

「01101100」と入力します。

「1：10pps」にする場合（ほかは初期値のまま）

「11101100」と入力します。

「2：20pps」にする場合（ほかは初期値のまま）

「21101100」と入力します。

「3：自動」にする場合（初期値）

「31101100」と入力します。

- 5 音声ガイダンスで設定内容を確認し、ハンドセットを置きます。

入力した値が間違っているときは、「設定できません」という音声ガイダンスが聞こえ、手順3へ戻ります。

- ダイヤル種別を「自動」以外から「自動」に設定変更した場合は、設定後にテスト通報（**とめる** ボタンと **非常** ボタンを同時に押下すると起動します。）を実施する必要があります。テスト通報を実施しないと、SL-8号BOXの通報機能等が使用できませんのでご注意ください。



- 設定を中止するには **とめる** ボタンを押すか、電話機のハンドセットを置きます。

配線・設置・設定の手順

■ 例：着信拒否を設定する

- 1 SL-8号BOX本体の電池カバーの内側にある **登録** スイッチを約3秒間押しします。

電源ランプが点滅し、「ピー」という登録音が鳴ります。

登録 スイッチは本体の底面の電池カバー内にあります。

- 2 電話機のハンドセットを取り上げます。

電源ランプが点灯し、「システムデータを設定します」という音声ガイダンスが聞こえます。

- 3 ⑨ ① ② と押します。

現在の設定内容が聞こえます。

設定値については、「システムデータ設定P90一覧」を参照してください。(👉P59)

- 4 8桁の設定値を入力します。

SL-8号BOX本体の着信音を「0：鳴らさない」にする場合（ほかは初期値のまま）

「30101100」と入力します。

SL-8号BOX本体の着信音を「1：鳴らす」にする場合（初期値）

「31101100」と入力します。

SL-8号BOX本体の着信音を「2：鳴らさない（ボタン使用不可）^{*1}」にする場合（ほかは初期値のまま）

「32101100」と入力します。

SL-8号ハンドフリーボックスの着信音を「0：鳴らさない」にする場合（ほかは初期値のまま）

「31001100」と入力します。

SL-8号ハンドフリーボックスの着信音を「1：鳴らす」にする場合（初期値）

「31101100」と入力します。

- 5 音声ガイダンスで設定内容を確認し、ハンドセットを置きます。

入力した値が間違っているときは、「設定できません」という音声ガイダンスが聞こえ、手順3へ戻ります。

*1：「2：鳴らさない（ボタン使用不可）」に設定すると、着信音が鳴らなくなり、**非常** ボタン、**相談** ボタン、**応答** ボタン、**とめる** ボタンが使用できなくなります。

- ダイヤル種別を「自動」以外から「自動」に設定変更した場合は、設定後にテスト通報（**とめる** ボタンと **非常** ボタンを同時に押下すると起動します。）を実施する必要があります。テスト通報を実施しないと、SL-8号BOXの通報機能等が使用できませんのでご注意ください。



- 設定を中止するには👉

SL-8号BOX本体の **とめる** を押すか、電話機のハンドセットを置きます。

システムデータ設定P90一覧

システムデータ番号 (初期値*1)	項目	設定内容	初期値*1	ユーザ設定 値*2
P90 (31101100)	ダイヤル種別	電話回線の種別を設定する 0: PB 1: 10 pps 2: 20 pps 3: 自動*3	3	
	SL-8号BOX本体の着信拒否	着信音を鳴らすかどうかを設定する 0: 鳴らさない 1: 鳴らす 2: 鳴らさない (ボタン使用不可) *4	1	
	SL-8号ハンドフリーボックスの着信拒否	着信音を鳴らすかどうかを設定する 0: 鳴らさない 1: 鳴らす	1	
	ナンバー・ディスプレイサービスの有無	接続した電話機で、ナンバー・ディスプレイを使用するかどうかを設定する 0: 使用しない 1: 使用する*5	0	
	電源ランプ 常夜灯 (非常)、(相談) ボタン)	非常、相談、電源ランプの点灯を設定する 0: 電源ランプ消灯、常夜灯消灯 1: 電源ランプ点灯、常夜灯消灯 2: 電源ランプ消灯、常夜灯点灯 3: 電源ランプ点灯、常夜灯点灯	1	
	キータッチ音	ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定する 0: 鳴らさない 1: 鳴らす	1	

*1: 初期値は、システムデータ番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

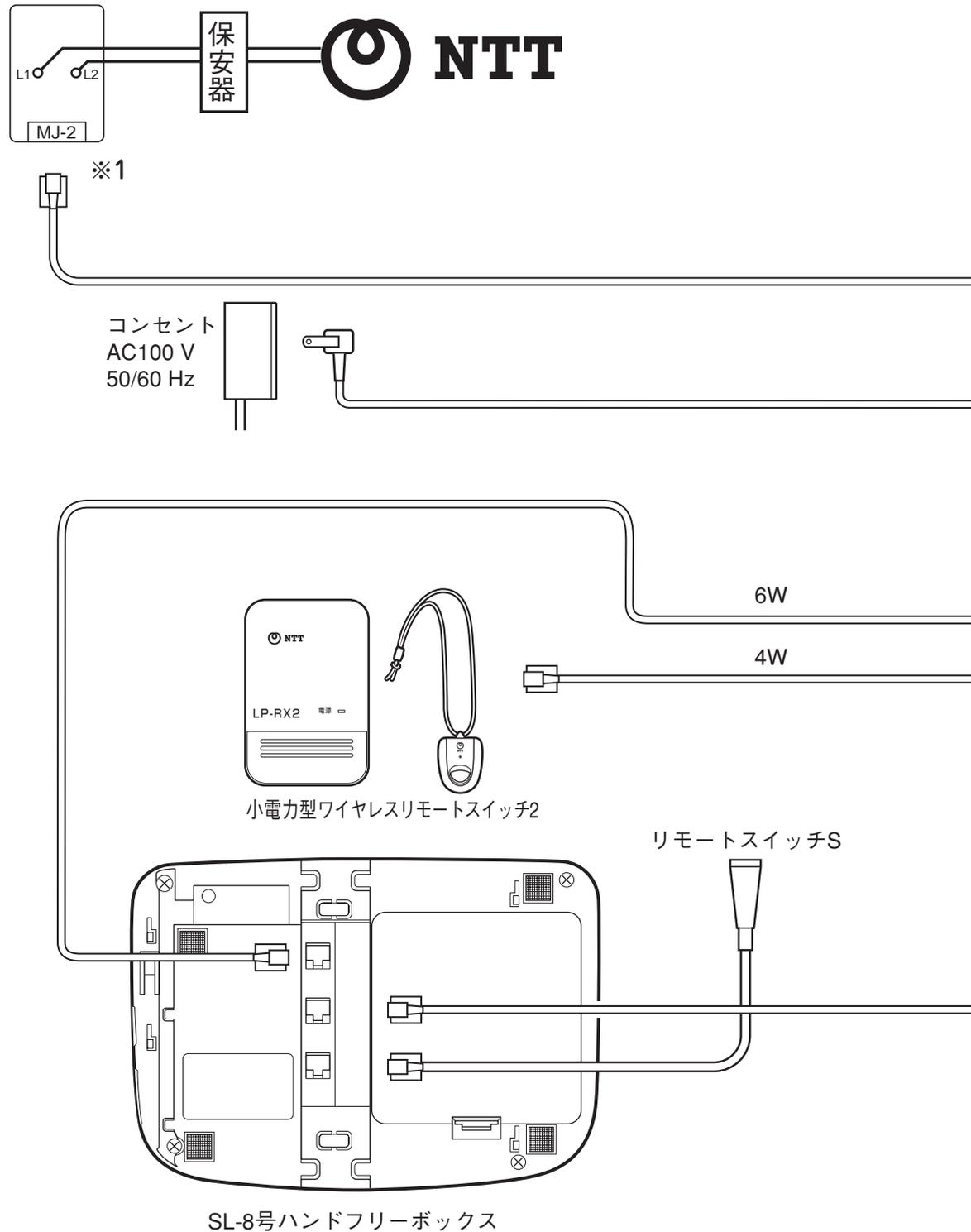
*3: ダイヤル種別を「自動」以外から「自動」に設定変更した場合は、設定後にテスト通報 ((とめる) ボタンと (非常) ボタンを同時押下すると起動します。) を実施する必要があります。テスト通報を実施しないと、SL-8号BOXの通報機能等が使用できませんのでご注意ください。

*4: 「2: 鳴らさない (ボタン使用不可)」に設定すると、着信音が鳴らなくなり、 (非常) ボタン、 (相談) ボタン、 (応答) ボタン、 (とめる) ボタンが使用できなくなります。

*5: 接続した電話機で、Lモードを使用する場合もこの値に設定してください。

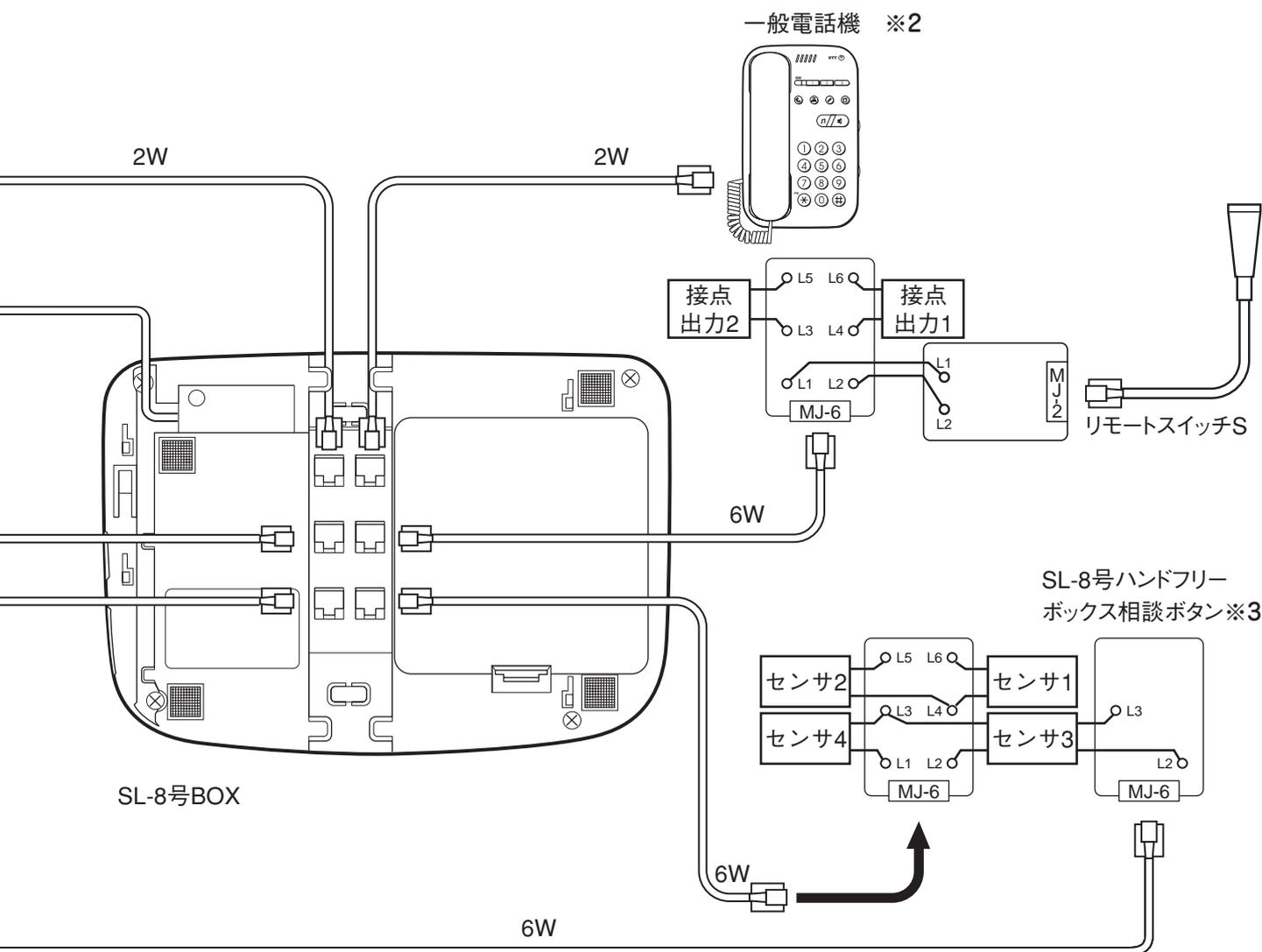
配線のしかた

下の図を参照して、SL-8号BOXと別売品などを接続（配線）してください。



⚠ 注意

本商品は、当社の提供する一般電話回線用です。ISDN回線、IP網やCATV網に接続して使用することはできません。また、ターミナルアダプタ等のアナログポートや他の通信機器（FAX等）を経由して接続しないでください。緊急通報が正常に行われられない場合があります。



- ※1緊急通報が正常に行われなない場合がありますので、電話回線を他の通信機器（FAX等）を経由してSL-8号BOXに接続しないでください。
- ※2機器によってはご使用になれない場合もあります。緊急通報による強制切断により、通話やその他の通信ができなくなる場合があります。
- ※3SL-8号ハンドフリーボックスの相談ボタンをご使用の場合は、センサ3をSL-8号ハンドフリーボックスの相談ボタン端子に接続してください。センサを使用されない場合は、SL-8号BOXのセンサ端子とSL-8号ハンドフリーボックスの相談ボタンを電話機コード（6W）で直接接続すると、ご使用になれます。

アルファベット

EX端子	18
LINE端子	18
SL8 HF端子	18
SL8TEL/BOX端子 (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
SL-8号BOX本体	16
SL-8号ハンドフリーボックス	42
TEL端子	18

五十音

【あ行】

応答ボタン	17
応答ボタン (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
お手持ちの電話機を 接続して利用するには	28
オプションのご紹介	36
オプションを接続して使うには	38

【か行】

各部の名前とはたらき	17
各部の名前とはたらき (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
壁掛け金具	16,19
壁掛け金具 (SL-8号ハンドフリーボックス)	43
壁掛けにして使うには	19
壁掛け用ネジ	16,19
壁掛け用ネジ (SL-8号ハンドフリーボックス)	43
乾電池をセットする	21
キータッチ音	59
緊急通報するには	24
緊急通報するには (SL-8号ハンドフリーボックス)	46
緊急通報するには (小電力型ワイヤレスリモートスイッチ2)	38
緊急通報優先機能(強制切断機能)	30
警報音量ポリウム	18
声や呼び出し音を調節するには	26
声や呼び出し音を調節するには (SL-8号ハンドフリーボックス)	45
故障かな?と思ったら	52

【さ行】

システムデータ設定P90一覧	59
システムデータを設定する	55
仕様	64
仕様 (SL-8号ハンドフリーボックス)	64
小電力型ワイヤレス リモートスイッチ2	36,38
常夜灯	34
受信機 (小電力型ワイヤレスリモートスイッチ2)	36
スピーカ	17
スピーカ (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
スピーカ音量つまみ	17
スピーカ音量つまみ (SL-8号ハンドフリーボックス)	44,45
生活周期異常通報機能	31
セットを確認してください	16
セットの確認 (SL-8号ハンドフリーボックス)	43
センサ(各種センサ)	39
センサ端子	18
センサ通報機能	30
送信機 (小電力型ワイヤレスリモートスイッチ2)	36
相談電話をかけるには	25
相談電話をかけるには (SL-8号ハンドフリーボックス)	47
相談ボタン	17
相談ボタン (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
相談ボタン端子 (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
相談ボタン目隠しキャップ (SL-8号ハンドフリーボックス)	43

【た行】

ダイヤル種別を設定する	57
着信音量スイッチ	17
着信拒否を設定する	58
着信自動応答機能	33
定時通報機能	31
停電が終わったとき	51
停電中は	50
停電になったときのために	20
停電になったときは	50
テレコントロール	32
電源コード	18

電源プラグ	18
電源ランプ	17
電源ランプ (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
電池カバー	18,20,21
電池切れ検出機能	30
電池切れ通報機能	30
電池パック端子	18
電池パックをセットする	20
電話機コード	16
電話機コード (SL-8号ハンドフリーボックス)	43
登録スイッチ	18
特長	14
とめるボタン	17
とめるボタン (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
トラブル	52

【な行】

ナンバー・ディスプレイ	28,59
-------------	-------

【は行】

配線のしかた	60
パソコン接続端子	18
非常ボタン	17
非常ボタン (SL-8号ハンドフリーボックス)	44
保守サービスのご案内	65

【ま行】

マイク	17
マイク (SL-8号ハンドフリーボックス)	44

【や行】

呼び出し音が鳴ったときに電話に出る (SL-8号ハンドフリーボックス)	48
呼び出し音が鳴ったときは	27

【ら行】

リモートスイッチ S	36,46
リモートスイッチ端子 (SL-8号ハンドフリーボックス)	44

【わ行】

ワイヤレス端子	18
---------	----

付録 仕様

● SL-8号BOX仕様

使用回線	当社の提供する一般電話回線
ダイヤル方式	DP (10 PPS/20 PPS) または、PB
異常入力	非常ボタン、センサ類4入力、ワイヤレス受信機入力
通報宛先	13グループ、9宛先
通報方式	音声合成方式、PB信号方式、PB信号+音声合成方式、録音音声方式
電源	AC100 V±10 V 50/60 Hz 予備電源：SL-8号用蓄電池パック（ニカド蓄電池：単三型6本パック、7.2 V、600 mAh）またはアルカリ単三乾電池（6本）
消費電力	最大約7 W
寸法・質量	幅約210 mm×奥行き約152 mm×高さ約45 mm 約0.7 Kg（SL-8号用蓄電池パックを含む）
動作温度、湿度	0～40℃、20～90%以下（結露しないこと）

● SL-8号ハンドフリーボックス仕様（別売）

異常入力	非常ボタン、リモートスイッチS（別売）
電源	SL-8号BOXから供給
寸法・質量	幅約210 mm×奥行き約152 mm×高さ約45 mm 約0.4 Kg
動作温度、湿度	0～40℃、20～90%以下（結露しないこと）

● 保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	・毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	・修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用、および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますので、ご了承ください。） ・当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター：☎0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

メ 毛



環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。



本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： **0120-109217**

電話番号をお間違いにならないように、ご注意願います。

©2002 NTTEAST・NTTWEST



本2386-2(2003.1)
SL8-BOX トリセツ